

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第1号 平成27年度3月補正予算案についての市長への意見申出について</p>	<p>「3月補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>議案第6号 平成28年度『垂水市の教育』基本方針について</p>	<p>平成28年度垂水市の教育行政の運営に関する基本方針を定めようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第7号 垂水市教職員訓告措置審査委員会設置規程の制定について</p>	<p>垂水市の公立小・中学校に勤務する県費負担教職員の訓告措置について審査、決定する垂水市教職員訓告措置審査委員会を設置する必要があるため、制定しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第8号 平成28年度以降の学校医・学校薬剤師の委嘱について</p>	<p>平成28年度以降の学校医・学校薬剤師を委嘱しようとするものである。(任期)学校歯科医：2年、学校薬剤師：1年</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第9号 垂水市社会教育指導員の任命について</p>	<p>社会教育指導員を再任しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第10号 垂水市青少年育成センター相談員の委嘱について</p>	<p>青少年育成センター相談員を再任しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>

平成27年度第 12 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成28年3月11日（金）</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後3時20分</p> <p>大会議室</p>	<p>教育委員長 野村 繼 治</p> <p>教育委員 田原 正 人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛 迫 幸 平</p> <p>教 育 長 長 濱 重 光</p>	<p>教育総務課長 保久上 光昭</p> <p>学校教育課長 下 江 嘉 誉</p> <p>社会教育課長 森 山 博 之</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成27年度第12回教育委員会定例会を開会した。
議案第7号から第10号の議案4件は非公開で審議する旨、委員長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成27年度第11回定例会会議録の承認 承認

3 議 事

- 報告第 1 号 平成 27 年度 3 月補正予算案についての市長への意見申出について
- 議案第 6 号 平成 28 年度『垂水市の教育』基本方針について
- 議案第 7 号 垂水市教職員訓告措置審査委員会設置規程の制定について
- 議案第 8 号 平成 28 年度以降の垂水市学校医・学校薬剤師の委嘱について
- 議案第 9 号 垂水市社会教育指導員の任命について
- 議案第 10 号 垂水市青少年育成センター相談員の委嘱について

4 その他

5 委員報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	<p>報告第 2 号 平成 27 年度 3 月補正予算案についての市長への意見申出について</p>
教育総務課長	<p>「3 月補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告。 (質疑なし)</p>
教育総務課長	<p>議案第 6 号 平成 28 年度『垂水市の教育』基本方針について 平成28年度垂水市の教育行政の運営に関する基本方針を定めようとする ことについて、その内容を説明。</p>
中谷委員	<p>資料に標記のばらつきが見受けられるので、統一した方が良い。</p>
教育総務課長	<p>再度確認し、統一できるものについてはそのようにする。</p>
葛迫委員	<p>資料 19 ページ中段にある「和田英作・和田香苗記念絵画コンクールの開催」について、「第3回」の記述を冠した方が良いのではないかと。</p>
社会教育課長	<p>そのようにしたい。</p>
委員長	<p>異論がないので、議案第 6 号は承認する。</p>
3 議 事	<p>議案第 7 号 垂水市教職員訓告措置審査委員会設置規程の制定について (非公開)</p>
3 議 事	<p>議案第 8 号 平成 28 年度以降の学校医・学校薬剤師の委嘱について (非公開)</p>
3 議 事	<p>議案第 9 号 垂水市社会教育指導員の任命について (非公開)</p>
3 議 事	<p>議案第 10 号 垂水市青少年育成センター相談員の委嘱について (非公開)</p>
4 その他	<p>なし</p>

5 報 告	委員報告
委員長	教育委員の報告に入る。
委員長	<p>1 協和小学校学習発表会について</p> <p>2月14日（日）に協和小学校の学習発表会に参加した。先日逝去された林信枝先生への黙祷の後に発表会が始まり、保護者席も満杯であった。発表会はスローガン「学級一丸」そのままに、全員参加をベースに一人ひとりが役割を果たしていた。1年生もしっかりと胸を張れるようになっていた。もちろん、上級生は垂水市の歴史や文化を踏まえ、観光、経済に関わるような、日本一の水産業や日本列島ダーツの旅in垂水といったテーマについて、正確な情報やデータを使って発表していた。小学生でもこれほどできるのかと思うような、価値ある発表ができていた。孔子の「後生畏るべし」という言葉のとおりの思いがした。</p> <p>2 第68回垂水高等学校卒業式について</p> <p>3月1日、第68回垂水高等学校卒業式に出席した。普通科11名、生活デザイン科23名、計34名と小規模ではあったが、心のこもった、厳粛で整然とした式典であった。小規模校であるが故に、生徒一人ひとりの存在意識、仲間意識の強さ、連帯感の広がり強く感じた。ここ数年、垂水高校生としての帰属意識の高揚が評価されている。去年は東進ハイスクールの好意的な進路設計に関わる支援が始まるという大きな出来事があったが、生徒諸君の更なる向上、躍進がさらに高まるのではという期待が持てる雰囲気であった。</p>
田原委員	<p>1 さわやかあいさつ運動推進協議会等について</p> <p>2月18日に垂水市さわやかあいさつ運動推進協議会に出席したが、その会で、「この会議は形骸化している。」という意見が出された。「毎回、同じような会議の内容になってはいないか。」という趣旨の発言であったが、ここ何年か見ていて、学校や行政が取り組んでいる内容は毎年ほぼ同じになっている。会議をさらに充実させていくために、例えば反省の中でいつも出てくる「大人のあいさつが悪い。」を良くしていくためにどうしたらよいかといったテーマに絞って話し合ってみることも必要ではないか。何を中心に話し合いを進めていくのかといった会議の進め方、内容について、反省するいい機会になったのではないか。</p> <p>また、3月19日に出席した第2回たるみず学校応援団会議も同様のことが言え、マンネリ化しないためには資料の作り方はもちろん、会議の焦点化、来年につなげるためにどう改善していくかというテーマに絞って話し合うとか、会議の進め方を工夫していかないといけないと思う。</p>
中谷委員	<p>1 災害について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日（3月11日）は東日本大震災から5年目の日を迎えたが、全国で祈りが捧げられているものと思う。 ・ 2月20日に柘原で火災が発生し、障害を抱え力強く生きておられた夫婦が亡くなられた。自宅の近くであり怖かったが、夫は現場に駆け付けて

中谷委員

行ったので、自分は95歳の父を抱えてすぐに逃げなければと思うことだった。そして、隣の小学校に子どもたちはまだ登校していなかったが、普段からこんな時には、「自分の命は自分で守る」ということができるようになっておかなければならないと強く思った。地域のつながりが強いことから、火災現場の協力や片づけは、住民の手により1日でできた。

2 若い女性の会について

2月28日に大隅地区の約70人が集い、若い女性の会を開いた。まさに子育て中の若い母親たちを集まってもらうために主催した。会には、年配の先輩母親にも参加してもらい、会話やお茶を大いに楽しんだ。人と人の出会いを大切にしている活動をしているところである。

3 こころの教育の集まりについて

3月9日に柘原小学校で、こころの教育の集まりがあった。地域できちんとあいさつができてきているのかという話題となり、子どもたちはきちんとできているということであった。それと、小学校からの大事な用事が書いてある手紙が子ども便で届けられるとのこと。そうしてもらうことで子どもたちと話ができると、地域の方からは喜ばれている。直接、郵便でもらうよりも、子どもが自分に手紙を持ってきてくれたことで温かさを感じると感謝されていた。

3 柘原地区地域支援事業について

本日（3月11日）、柘原公民館において、柘原地区地域支援事業のお披露目式が開かれる。1,200万円ほどの予算で実施した事業内容を地域の皆さんにお披露目するのであるが、DVD試写会や地域在住のシェフが腕を揮った食事が振る舞われるとのこと楽しみである。

葛迫委員

1 第2回国民文化祭実行委員会について

- ・2月15日（月）の第2回国民文化祭実行委員会が開催され、事業報告及び会計監査報告といった内容であった。その報告で、最大のおもてなしであった少女少年おもてなし隊の子どもたちが実施したアンケートの中で、一番意見が多かったのが「垂水にもう一度やって来たい。」ということであった。このことは、行政やボランティアのスタッフ、おもてなし隊が県内外の方々に丁寧なおもてなしを行い、それに満足した方々からの「垂水にまた来たい。」という回答につながったのではないかと思う。また、絵画コンクール出品者から御礼のはがきが届いているとの報告もあったが、これもスタッフの対応の良さというのが光ったのではないかと思う。非常に成功した国民文化祭だったなと感じた。
- ・経済効果も大事なことではあるが、教育委員会としては文化の輪を広げることや知の領域、精神面の向上が重要であると考える。

2 第2回生涯学習推進会議について

- ・2月18日（木）に第2回生涯学習推進会議が開催された。平成27年度実績概要と平成28年度事業計画の報告があったが、平成28年度からの市民講座に、スポーツ吹矢やベリーダンスといった新しい講座が始まるとの

葛迫委員	<p>ことでありがたいことだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民文化祭の3つの主催事業、3つの柱に「絵画」と「食」と「歴史」があったのだが、これに関する生涯学習をずっと続けていって、継承することで国民文化祭があったことを忘れないようにして欲しいとの意見を出した。
教育長	<p>1 公立高校受検について</p> <p>3月8日、9日に行われた公立高校入試関係では、先週金曜日（3月4日）に垂水中央中学校3年生でインフルエンザが流行しかけて、1クラスだけ学級閉鎖することとなり心配したが、結果的には1名が別教室での受検となっただけで済みほっとしている。これまで頑張ってきた力を発揮してくれたことと思う。15日は中央中学校の卒業式、翌16日が合格発表であり、期待しているところである。</p> <p>2 若草文学賞について</p> <p>2月20日（日）、第16回若草文学賞受賞式に参加した。市内の小・中学校から「家族」という題目で、86名の子どもたちが出品してくれた。市文化協会の主催事業であるが、毎年、時代の背景、時々に応じた題を与えていただいて、子どもたちはいろいろなことを考える、振り返る機会になっている。今年は「家族」というテーマであったが、いろいろな家庭環境にある子どもたちが、いろいろなことを日々感じて生活しているのだなど改めて感じさせられた。総じて言えば、家族の大切さ、ありがたさ、そして優しさ、思いやりのある子どもたちが、垂水にはたくさんいるのだなど痛切に感じた。そして、一番うれしかったのは、この作文を書く機会が、子どもたちにとって、自分にできることは何か、家族のために役立つことは何だろうということを考える、いいきっかけになっているということである。このような取組みをしていただいている文化協会の皆様に、感謝の言葉を述べさせていただいた。</p>
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	<p>2月13日から3月11日までの主な行事等について報告。併せて、4月8日までの行事予定についてお知らせした。</p>
6 閉 会	